

人が輝き 活力ある街 豊田



ひ あ て こ う す け 日 富 浩 介

発行日：令和6年10月吉日

〒473-0925 豊田市駒場町東115-5

TEL：0565-57-0989 携帯：090-8325-0769

FAX：0565-57-1021 73268hiate@gmail.com

発行：日富浩介事務所

日々の活動は
こちらから

イベント紹介：豊田スタジアム 世界ラリー選手権

市政レポート VOL.38



ー皆さまへのごあいさつー

実りの秋を迎え、皆さまにおかれましては、いっそうご活躍のことと拝察いたします。

この夏は、連日猛暑日が続き、環境省から、熱中症警戒アラートが発表されました。年々、気候変動の影響が進んでいることを感じます。

これから、寒くなる時期ではありますが、寒暖差で体調を崩さないよう、お身体には、ご自愛頂きますことをお願い致します。

8月26日には、令和7年度に向けた政策要望を提出致しました。引き続き、皆さまの声を反映できる政策に向け取り組みます。内容につきましては、次回のレポートで紹介させていただきます。よろしくお願いします。

◇生年月日：1970年1月3日 ◇出身地：熊本県球磨郡 ◇卒業校：球磨工業高校卒業

◇アイシン高丘株式会社 ◇アイシン労働組合専門部員 ◇豊田市議会議員 2015 年初当選 現3期目

世界ラリー選手権の継続開催を締結

令和8年度から3年間、主催者として日本大会の成功を目指します！

◆豊田市開催の意義

豊田市はクルマのまちであり、本市のまちづくりを永続的に発展させるには、産業の活性化は欠かせない。また、クルマを組み立てる工場が多い豊田市にとって税収増の側面からも重要である。その税収により、今後も豊かな市民生活を続けるためにも、世界ラリー選手権を継続開催したいと考える。

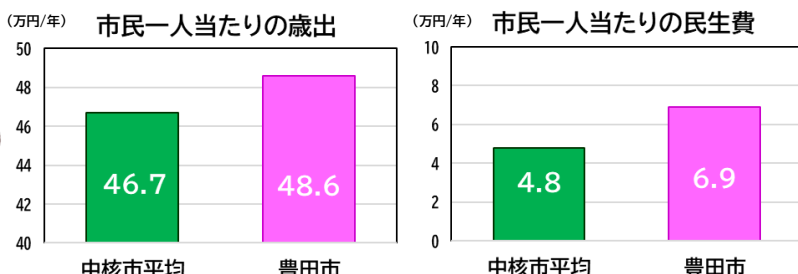


重要！費用負担による市民サービスへの影響は。

質問：世界ラリーを開催するための費用負担により、他事業や市民サービスの水準低下はないのか？

回答：豊田市の市費で市民一人当たりにお金は、中核市の中で1位であり、高い水準です。また、現在の市債・基金残高を踏まえれば、現状の市民サービス水準を落としたり、事業の削減をすることなく開催出来ると判断しました。

【令和元年度から令和4年度平均】



※民生費：高齢者、障がい者の福祉の充実、子育て支援などの費用。

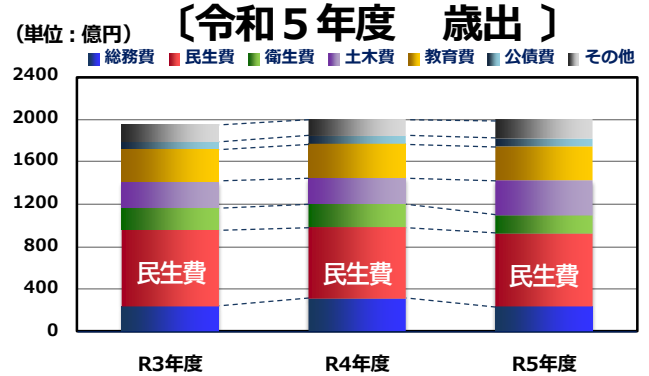
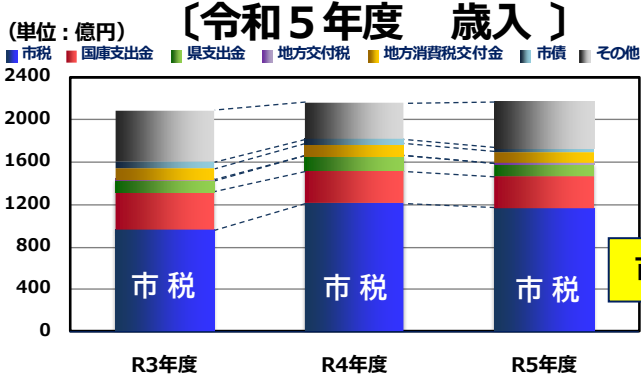
令和5年度一般会計決算報告

令和5年度は、「第8次豊田市総合計画」の推進と、ポストコロナ社会を見据え、デジタル化・スマート化、また、重点的に配分した子ども・子育てへ施策を着実に推進した決算となりました。

令和5年度歳入 2,170億 2,991万円 **令和5年度歳出 1,999億 4,292万円**

前年度比 +3億31万円(+0.1%)

前年度比 ▲4,079万円(▲0.0%)



歳入 (市に入ってくるお金)	
市税	市民の皆さんが納めるお金
国庫支出金	国や県から入るお金で、使い道が決められているお金
県支出金	国や県から入るお金で、使い道が決められているお金
地方交付税	使い道が自由な国から入るお金
地方消費税交付金	地方消費税のうち県から配分されるお金 (子ども医療費補助・子ども園運営等)
市債	国や銀行などから借りたお金
その他	使用料や手数料など

市税の内訳	金額	前年度比
個人市民税	320.4億円	5.5億
法人市民税	241.0億円	▲65.1億
固定資産税	444.6億円	11.9億
事業所税	76.0億円	0.9億
都市計画税	45.3億円	1.8億

歳出 (市が使うお金)	
総務費	地域振興や庁舎管理、選挙などのお金
民生費	高齢者や障がいのある人、子育てなどを支えるためのお金
衛生費	病気の予防、ごみ処理・環境保全等のお金
土木費	道路や公園などを整備するためのお金
教育費	学校整備やスポーツ・文化などを盛んにするためのお金
公債費	借入金 (市債) を返すためのお金
その他	消防費や商工費、農林水産業費

※法人市民税: 企業業績の変動により減少

< 主な実施事業 >

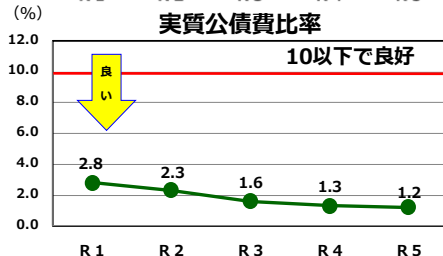
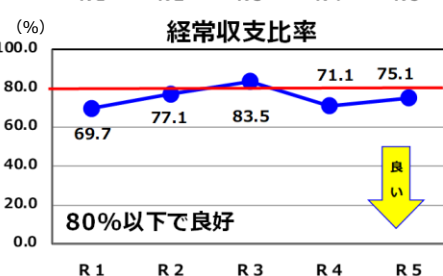
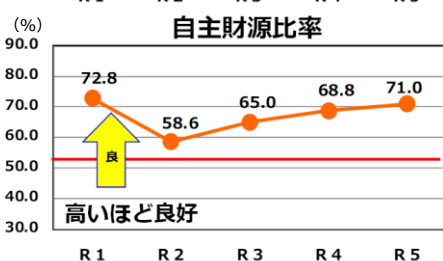
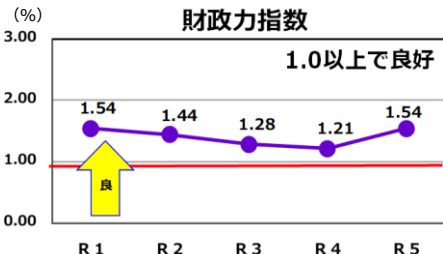
- ① キャッシュレス・宿泊事業者等への **支援・消費喚起事業** が進められました。
- ② 昨年に続き、**世界ラリー選手権を開催**。山村地域や自動車産業の振興が図られました。



- ③ 踏切を除却し円滑な道路環境を進める **名鉄三河線若林駅付近の高架化事業が推進** されました。
- ④ 豊田市の歴史・文化・芸術など愛着や誇りを醸成する **豊田市博物館の建設** が行われました。



財政指数から健全性が示されました。



9月議会の一般質問に登壇しました。

【質問テーマ①】地域の存続を支える公共交通への取組

選挙公約である『おいでんバスの大学生までと70歳以上の高齢者の無料化』の検討状況。

来年には、団塊の世代が後期高齢者となり、免許返納者が増えると予想される。移動手段が制限されるなか、不安の払拭となる公共交通の充実に向けた取組について質問しました。

質問① 効率化を高め、新たな需要に応じていく、今後の公共交通の課題は？



答弁: 運転手不足や運行経費の増大など環境は厳しいが、費用対効果だけでなく、利用者などの視点で、持続可能な公共交通の在り方を検討。

質問② 日常の買い物を地域内で出来ない事情を踏まえた、まちづくりと公共交通の考えは？



答弁: 地域課題の解消に向け、地域が考える日常生活を地域内で完結できるコンパクトなまちづくりに向け、まちづくりと連携した生活交通を目指す。

質問③ おいでんバスの無料化に向けて『高校生の通学費支援や更なる利用促進』を段階的に取り組むとした市長の考えと想いは？



答弁: 無料化の実現には、現段階で解決すべき課題が多い。しかし、喫緊の課題として、山間地域の定住促進に早急な対応が求められる。現在、高齢者には、定額補助を実施。段階的な取組としては、一定の負担をお願いし、公平性も考慮した「高校生のバス通学に係る費用負担の軽減」に向け、令和7年4月の実施を目指し、制度設計を進める。

【質問テーマ②】市民により近い市政情報発信への取組

災害時や緊急を要する際に、市民が一番必要とするのが行政のリアルタイムな情報である。しかし、障がい者やインターネット環境がない人や苦手な人、特に高齢者は、メリットを生かすことが出来ない実態がある。取り残される市民を無くす情報発信の強化が必要との思いで質問しました。

質問① 新型コロナ時は、高齢者等にリアルタイムな情報が届かなかった。その後の発信力強化は？



答弁: 公式 SNS など情報発信のすそ野を拡大。住民同士の情報共有の支援など、情報取得における自助・共助の取組を促進してきた。

質問② 情報の取得が困難な高齢者や障がい者への情報発信の課題解決に向けた取組は？



答弁: 色や文字サイズの変更。読み上げ機能ややさしい日本語の活用。デジタル技術での格差が生じないよう適切に対応していく。

質問③ 災害時の情報伝達手段の強化には、情報伝達の多角化が必要。課題は？



答弁: 市公式 SNS の他、情報伝達の多角化を進めた。課題は、個々の状況で、確実に情報を取得できる手段を強化することが必要と考える。

質問④ 新たな市政情報発信として、テレビのデータ放送の導入を提言する。見解は？



答弁: リアルタイムな情報を伝達ができる新たなツールとして期待できる。まずは試行に向け、具体的な検討に着手していく。

豊田市からのお知らせ

- ①粗大ごみ24時間365日オンライン受付開始。
電話での受付方法に加え、**新たに LINE(24時間、365日)での受付を開始**し、市民の利便性を高めます。



現行:電話受付
今後:令和6年10月より
LINEを追加
※旧町村は、令和7年3月
まで LINE+支所で受付。
(令和7年4月より、LINE、
+電話受付に一本化)

- ②古瀬間聖苑の豊田市・みよし市の優先枠を設定。
利用増加が予想されており、お亡くなりになられた方と
その家族の**尊厳を守り安心して利用出来るための制度。**



市民優先制度:**火葬利用
日の2日前、午後9時まで
で市民のみ予約可能と
する。**
市民:**亡くなった方が市
民、また死亡者の親族を
市民とする。**

- ③こども園の保育士配置基準を見直し。
全国での事故や不適切な事案を防ぎ、**安心して預けら
れる体制の整備と保育士の負担軽減**を図ります。



◆**保育士1人当たり**の
こどもの数を見直し
3歳児:15人⇒12人
4歳児:28人⇒25人
5歳児:30人⇒25人
※令和7年度より、3歳児
から順に配置基準拡大。

- ④消防指令システム等を更新し緊急対応力をUP。
大規模災害時の緊急度登録による**優先順位付け**により、
けが人等への適切な対応が可能となります。



ひあて浩介 活動紹介



マイタウンおいでん高岡に出席しました。
(ラリーJN3 チャンピオン山本選手と一緒に)



アイシン高丘労働組合、新イベント、カー
ト大会に参加しました。



今回の一般質問の調査のため、北海道文
化放送で調査・研究を行いました。



駒場自治区「こどもフェスタ」に、前林
こども食堂のふるまいで出店しました。



毎月2回、地元の生駒町横山交差点など
で、街頭活動を行っています。



自動車総連の研修会で国民民主党首、
玉木代表と一緒にさせて頂きました。



FTS労働組合の新組合員研修でP/D・
意見交換の機会を頂きました。



空飛ぶクルマを開発している「SKY
DRIVE」を視察しました。



豊田地域協議会の街頭活動でSTOP賃金
格差・カスハラの活動に参加しました。